**陸羽東線利用実態等基礎調査の実施について**

**資料５**

１．件　　名　　　陸羽東線利用促進に向けた基礎調査委託業務

２．目　　的　　　陸羽東線利用促進策検討に向けた基礎調査として，利用実態調査に加え，観光や通勤・通学等の利用状況及び利用者ニーズの把握を目的とするアンケート調査等を実施するもの

３．事業期間　　　令和５年８月 から　令和6年3月２０日（事業完了期限）まで

４．内 容

（１）現況整理

陸羽東線の利用促進に向けて，施策立案の根拠となるデータを整理する。

※過年度の取り組み状況や検証結果，既存の調査結果などは発注者から提供する。

（２）利用実態調査

・調査目的：陸羽東線の利用実態を把握するため，乗り込み調査を実施する。

・調査対象：陸羽東線の市内区間（古川～中山平温泉駅の区間）

・調査手法：上下線2両編成に調査員が乗り込み，各駅の乗降者数をカウントする。

・調 査 日：平日1日間，休日1日間，紅葉期1日間，調査時間は始発～終電まで

　　　　　　を想定する。

※調査実施にあたっては，ＪＲ東日本と協議の上，協力・連携して実施する。

（３）市民アンケート調査

・調査目的：陸羽東線の利用促進にあたっては，公共交通ネットワーク全体として検討することが重要である。そのため，市内陸羽東線沿線地域を対象に市民の外出実態や公共交通の利用状況などを把握するためアンケートを実施する。また，本調査を通じて，市民へ陸羽東線などの公共交通をＰＲしつつ，意識改革や行動変容を図る。

・調査対象：①18歳以上(生年月日が平成16年4月2日以降の方）の大崎市内陸羽東線沿線地域在住者3,000人（無作為抽出）を対象とする。

　　　　　　②陸羽東線沿線の高等学校に通学する学生(1年生）1,470人を対象とした同様のアンケートを発注者が実施するので，回収アンケートの集計分析を合わせて行う。

・調査手法：WEBアンケートのURLとQRコードを作成，調査票を郵送し，WEBもしくは郵送にて回収する。

・回収目標：①1,050人（回収率35％を想定）

　　　　　　②1,250人（回収率85％を想定）

（４）沿線企業・施設ヒアリング調査

・調査目的：目的施設である陸羽東線の駅勢圏（およそ駅から半径1㎞の範囲を想定）に立地している沿線企業や施設等を対象に，通勤目的の利用状況やニーズ，今後の通勤利用の可能性を把握するため，ヒアリング調査を実施する。

・調査対象：ヒアリング対象は10企業・施設程度とする。

・調査手法：調査員が企業・施設を訪問し，調査項目に沿って直接聞き取りを行う。

（５）観光客アンケート調査

・調査目的：観光客の移動実態や陸羽東線の利用状況とニーズなどを把握するため，インターネットアンケートを実施する。

・調査対象：観光目的で本市に来訪経験のある市外在住者

・調査手法：インターネットによるアンケート調査を実施する。

・回収目標：２００人を想定する。

（６）観光施設ヒアリング調査

・調査目的：観光施設を対象に，観光客の受け入れ状況や観光客の移動手段確保に向けた課題などを把握するため，ヒアリング調査を実施する。

・調査対象：ヒアリング対象は５施設程度を想定する。

・調査手法：調査員が施設管理者を訪問し，調査項目に沿って直接聞き取りを行う。

（７）施策メニュー（案）の検討

前項までの調査結果を踏まえ，「陸羽東線の利活用促進に関する検討報告書」の方向性に基づき，顕在需要と潜在需要のそれぞれの視点から具体な施策メニュー（案）を検討する。また，調査結果を活用して，施策メニュー（案）に紐づくＫＰＩを設定する。

５．活用する国の制度（予定）

　　〇地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通再構築調査事業）

　　　補助率1/2（上限額1,000万円）

６．今後のスケジュール（予定）

　　〇令和５年

　　　・８月２３日　事業実施承認（陸羽東線利活用促進検討会議）

補助金申請（市→国）

　　　　　　　　　　交付決定（国→市）

　　　　　　　　　　事業着手

　　〇令和６年

　　　・３月　　　　事業完了（３月２０日期限厳守）